

一級河川土器川水系土器川における  
河床掘削工事の代行を条件とした土砂等の採取希望者 公募要領

1. 公募の趣旨

国土交通省四国地方整備局（以下「河川管理者」という）は、一級河川土器川水系土器川において、河川管理上、堆積土砂の掘削工事が必要と判断し、かつ当該工事の施工に伴い砂利等の発生が見込まれるため、河川法（昭和 39 年法律第 167 号）第 20 条の規定に基づく承認を受けて工事を行い（以下、「代行工事」という。）、併せて河川法第 25 条及び砂利採取法（昭和 43 年法律第 74 号）第 16 条の規定に基づき当該砂利等の採取を希望する方（以下「希望者」という）を募集します。

応募される方は、本公募要領をお読みいただき、次の各事項をご承知の上、お申し込みください。

2. 公募箇所の概要

（1）河川の名称

土器川水系土器川

（2）掘削の場所

土器川水系土器川 5 k 8 0 0 ～ 6 k 6 0 0 付近 丸亀市飯山町地先

（別添位置図、平面図及び現況写真のとおり）

（3）掘削に係わる土地の面積 4 6, 0 0 0 平方メートル

（別添平面図のとおり）

（4）掘削できる土砂等の数量

レキ質土 予定数量 1 0, 0 0 0 立方メートル

現工事の採取期間中であるため、見込みの数量である。

なお、希望数量が上記数量に達しない場合でも応募は可能である。

（ただし、希望数量は、全て掘削すること。）

（5）掘削できる河床の高さ

（別添縦断面図及び横断面図のとおり）

（6）掘削の期間

許認可の日から令和 1 1 年 1 月 3 1 日まで

3. 土石採取料

河床掘削工事の代行を条件とした河川砂利等の採取であるため、採取料は免除する。

4. 応募資格要件

希望者は、次の（1）から（5）までの要件を全て満たす者とする。

（1）砂利採取法第 3 条に規定する砂利採取業者の登録を受けていること又は申込み締切り日の令和 8 年 2 月 9 日までに登録を受ける見込みがあること。

（2）建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 3 条に規定する建設業の許可（土木工事業に限る。）を受けていること又は申込み締切り日の令和 8 年 2 月 9 日までに

登録を受ける見込みがあること。

(3) 業務主任者を代行工事に専任で配置できること。

(4) 次の①から⑤までの事項にいずれにも該当しない者

①代行工事を履行する確実性が認められない者

②破産手続開始の決定を受けて復権を得ていない者

③希望申込書の提出期限前2年以内に、河川法、砂利採取法及び採石法（昭和25年法律第291号）に係わる違反による有罪判決、起訴（訴訟中を含む。）又は重大な行政処分を受けた者

④会社更生法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく更生手続きまたは再生手続きの開始の申立てがなされて、更正手続開始の決定又は再生計画認可の決定がなされている者

⑤過去3年間に法人税、所得税、消費税の滞納がある者

(5) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する業者又はこれに準ずるものとして排除要請があり、当該状態が継続しているものでないこと。

(6) 欠格事項

次の①から⑤までの事項に該当した場合は、審査の対象としない。

①提出書類の必要事項に記載がない場合あるいは必要な書類が添付されていない場合

②提出書類に虚偽の記載があった場合

③公募期間内に必要な書類等が提出されなかった場合

④提出書類への質問に対して回答が得られなかった場合

⑤その他不正行為があったと認められる場合

## 5. 応募申込み手続き等

(1) 応募申込み手続き

希望者は、次の書類を四国地方整備局香川河川国道事務所工務第一課へ提出すること。

①申込書（様式1）

②採取計画概要書（様式2）

③誓約書（様式3）

④砂利採取法第3条の砂利採取業者登録通知書の写し

なお、砂利採取業者登録を申請中の場合は、申請書の写しを提出するものとし、登録完了後は、速やかに登録通知書の写しを提出すること。

⑤当該事務所の業務主任者の氏名及び砂利採取業務主任者試験合格証の写し

(2) 申込み方法

①郵送で申込む場合

申込み受付期間 令和8年1月9日から令和8年2月9日まで

【令和8年2月9日必着のこと】

送り先 〒760-8546 香川県高松市福岡町四丁目26-32

四国地方整備局 香川河川国道事務所 工務第一課

②持参する場合

申込み受付期間 令和8年1月9日から令和8年2月9日まで

【午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日・日曜日・国民の祝日を除く】

提出先 〒760-8546 香川県高松市福岡町四丁目26-32

四国地方整備局 香川河川国道事務所 工務第一課

(3) 質問書の提出

質問書の提出期限は、令和8年2月9日とする。

提出先は、四国地方整備局香川河川国道事務所工務第一課宛（e-mail: skr-kagawa60@mlit.go.jp）に、任意様式に必要事項を記入してメールで送付すること。

なお、質問書送付時には、電話により着信確認を行うこと。（TEL 087-821-1619）

6. 審査について

(1) 提出書類により応募資格要件の確認を行う。

(2) 審査方法は、採取計画概要書（様式2）の記載内容に基づき、原則、代行工事を行う候補者1者（以下、「候補者」という。）を選定する。ただし、審査結果に差異が認められない場合は、くじによる抽選にて選定する。

(3) スケジュール（予定）

申込締切	令和8年 2月 9日
選定結果の通知	令和8年 2月27日
河川法等の申請期限	令和8年 3月31日まで
河川法等の許認可の通知	令和8年 4月下旬頃
土砂の採取許可期間	令和8年 5月1日から 令和11年1月31日まで

(4) 審査結果の通知

審査結果は、書面にて応募者に通知する。

審査結果に対して疑問がある者は、結果通知日から1週間以内に文書で質問することができる。提出先は、5. (2) 申込み方法に示す宛先とする。

7. 河川法及び砂利採取法の許認可手続き

(1) 申請手続き

候補者は、速やかに次の①、②の関係書類（以下「申請書」という。）を添えて、河川法第20条、25条及び砂利採取法第16条に基づく申請を行うこと。

なお、これらの申請を行い、河川管理者の許認可を受けて代行工事を行う者を、「代行者」と言う。

①河川法第20条の承認及び同法25条の許可の申請

・承認および許可の申請書

- ・事業の計画概要
- ・位置図
- ・平面図
- ・横断図
- ・面積計算図
- ・土量計算書

②砂利採取法第16条申請

- ・採取計画認可申請書
- ・砂利採取法第3条の砂利採取業者登録通知書の写し
- ・砂利採取場を管理する事務所の名称、住所及び連絡先
- ・業務主任者の氏名及び砂利採取業務主任者試験合格証の写し
- ・業務主任者が砂利採取場において認可採取計画に従って砂利の採取が行われるよう監督するための計画書
- ・搬出経路を明示した図面

(2) 申請書の提出方法および提出先

申請書の提出部数は正本1部、副本1部の計2部とし、下記宛先まで郵送又は持参にて提出すること。

提出先 〒763-0082 香川県丸亀市土器町東7丁目150  
四国地方整備局 香川河川国道事務所 土器川出張所

(3) 提出期限

申請書の提出期限は、令和8年3月31日とする。特段の理由なく、この期限内の申請を行わない場合は、候補者の選定を取り消すことがある。

(4) 河川法第25条の許可及び砂利採取法第16条の認可の際に付すことを予定している条件

- ①許認可の期間中、採取区域の周辺の見やすい場所に砂利採取法第29条に定める標識を設けること。
- ②掘削工事の実施にあたっては、河川管理施設等を損傷しないように留意し、万一損傷したときは、速やかに香川河川国道事務所長（以下「事務所長」という。）に書面により届け出て、事務所長の指示に従うこと。この場合において、原状回復に要する費用は、代行者の負担とする。
- ③掘削工事及びそれに関連する諸設備その他の施設の用途を廃止したときは、事務所長の指示に従い、代行者が費用を負担して原形に復旧しなければならない。
- ④掘削箇所跡地の埋め戻し、廃土の処理等は、その都度、洪水の流れに支障のないよう実施すること。
- ⑤掘削土砂の運搬路（堤防、天端を含む。）は、常に良好な状態に保つよう維持、修繕すること。
- ⑥掘削及び運搬にあたっては、その行為に伴う危険を防止するための必要な措置を講じること。なお、河川内への進入路は土器川右岸6k2付近の堤外側坂路の利用を予定しているが、掘削又は運搬に必要となる仮設物は、代行者の負担で設置し、採取完了後、速やかに撤去すること。
- ⑦河川利用者、民地所有者、占用者等、第三者への危害を及ぼさないよう必用な

安全対策を講じること。

- ⑧濁水対策等について適切に実施し、必要に応じて汚濁防止対策を講じること。
- ⑨掘削（採取）作業は、作業員・仮設物・資機材等の避難方法や流出防止対策、降雨や河川水位等に関する情報の収集・伝達方法の確立等、防災措置に十分留意すること。
- ⑩出水等により代行工事に係る許認可の変更または取り消しを行う場合がある。
- ⑪掘削断面は、事務所長の許可を得て変更することができる。
- ⑫出水等により新たに土砂が堆積した場合は、事務所長の許可を得て掘削数量を変更することができる。
- ⑬掘削数量の確認方法は、事務所長の承諾を得ること。
- ⑭現場より発生した不要物（草、木、流木、ゴミ等）及び建設廃棄物については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）に基づくほか、「建設工事等から生ずる廃棄物の適正処理について（通知）」（平成 23 年 3 月 30 日付け環境省環廃産第 110329004 号）及び建設副産物適正処理推進要綱（平成 5 年 1 月 12 日付け建設省経建発第 3 号）に準拠し、代行者の費用において適正に処理すること。
- ⑮現場より発生した特定建設資材については、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号）に準拠し、分別・再資源化等を代行者の費用において適正に処理すること。
- ⑯この許認可に係わる行為に着手するとき及び行為を完了したときは、速やかに事務所長に届け出て、検査を受けること。
- ⑰採取時間その他採取行為の細部については、事務所長の指示に従うこと。
- ⑱許認可の日から 40 日以内に掘削工事に着手せず、採取の意図も認められないときは、許認可を取り消す場合がある。
- ⑲掘削にあたっては、別記様式 a による採取日誌を作成し、事務所長の指示があれば提示すること。
- ⑳経済産業省令、国土交通省令で定められたところにより、業務状況報告書を提出すること。
- ㉑掘削工事の期限の延長は原則として許可しない。
- ㉒掘削箇所における粒径が 300 ミリメートルを超える転石については、採取を認めない。
- ㉓掘削箇所における土曜日、日曜日、国民の祝日および年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、2 月 1 日～4 月 30 日、平日日没後の作業は禁止する。
- ㉔洪水等により河床掘削箇所に土砂が堆積するなど、砂利採取法 16 条の採取計画に変更が生じた場合には、同法第 20 条に基づく変更手続きを速やかにとること。
- ㉕許認可を受けた者の住所を変更したときは、速やかに事務所長に書面にて届け出ること。
- ㉖砂利等の採取に関する規制計画（四国地方整備局）の規制方針に変更があった場合は、許可内容の変更または取り消しを行う場合がある。

## 8. その他

- (1) 掘削、積込、搬出及び付随する全ての費用（機械費、人件費、仮設費、安全費（公道に配置する交通誘導員含む））等、代行工事に要する費用は、河川法第69条の規定により代行者の負担とする。
- (2) 第三者に危害を及ぼした場合、苦情等を受けた場合は、速やかに土器川出張所へ報告すること。なお、万一危害が発生したときは、代行者が賠償責任を負うものとする。
- (3) 申込書、採取計画概要書、及び代行工事の許認可等申請書の作成及び提出に要する費用は、代行者の負担とする。
- (4) 提出された申込書及び申請書は、返却しない。
- (5) 掘削箇所の試掘を場合は、希望者の費用負担により行うことができる。
- (6) 代行者は、掘削土砂の運搬や選別等の実施にあたって、行政又は地域住民の意見を尊重すること。
- (7) 掘削予定数量に達しない場合は、複数の候補者を選定する場合がある。又は別途公募を行うことがある。

## 9. 添付資料

位置図

平面図

縦断面図

横断面図

現況写真

申込書（様式1）

採取計画概要書（様式2）

誓約書（様式3）

別記様式a